

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策I-6-3 空港・港湾の維持・整備

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 港湾空港課長 奥村 恭 電話番号 0852-22-5228

事務事業の名称	空港維持管理業務	
目的	(1) 対象	空港利用者
	(2) 意図	空港の維持管理運営が適切になされている状態。
事業概要	滑走路・航空灯火の点検修繕、保安（テロ対策）、消火救難への備え、除雪・除草作業などを行い、航空機の安全運航と搭乗者の安全・快適な空港利用が出来るように確実な空港管理をおこなう。	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	定期航空機の就航率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		100.00	100.00	100.00	100.00	
式・定義	(定期航空機の就航便数－原因が空港維持管理運営の不備による欠航便数) / 定期航空機の就航便数		実績値	100.00	100.00	100.00	100.00		%
			達成率		100.00	100.00	100.00		%
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位		
	目標値		0.00	0.00					
式・定義	実績値	0.00	0.00	0.00					
	達成率		0.00	0.00			%		

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	560,609	626,927
うち一般財源(千円)	188,650	297,710

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

原因が空港維持管理運営の不備による欠航は無い状態を維持している。
施設の老朽化や保安体制の強化に伴い、維持管理に係る費用が増加している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

強化されつつある保安関係を含め、関係法令に基づく維持管理レベルを維持している。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
維持管理費用が増加
- ②困っている状況が発生している「原因」
施設の老朽化
保安体制の強化
- ③原因を解消するための「課題」
計画的な補修・更新

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

一層の経費節減に努めるとともに、計画的な補修・更新をする必要がある。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）